

第6回 『日本語体験コンテスト in プノンペン』

実施報告書



＜後列左より＞入賞者 5 名：NOUN MONYRETH、SAM NAVANN、KANG RATHANA、TANN SOMNEA、SNGOURN THEARANY

＜前列左より＞土屋総務委員、青木総務委員長、江崎専門調査員（在カンボジア日本国大使館）、西部審査委員、山田審査委員長、菊川実行委員長、鈴木参事官（在カンボジア日本国大使館）、山崎支店長（全日本空輸株式会社プノンペン支店）、SEM SOKLEN 様（公益財団法人 CIESF）、CHOURN KANHCHNA 様（タヤマビジネススクール）

【開催日】 2018 年 8 月 2 日（木）予選会 13:00～ 本選会 14:30～

【会場】 プノンペン市 SUNWAY HOTEL 2F

【主催】 一般財団法人 共立国際交流奨学財団

【現地運営団体】 NPO 光語学スクール

【後援】 日本国文部科学省
在カンボジア日本国大使館
全日本空輸株式会社プノンペン支店

【協賛】 株式会社 共立メンテナンス

【協力団体】 CBTC
Cambodian Mekong University
TAYAMA BUSINESS SCHOOL

<総評>

2013 年より始まった「日本語体験コンテスト in プノンペン」は 2018 年度で第 6 回目を迎えました。

第 6 回「日本語体験コンテスト in プノンペン」は 8 月 2 日(木)カンボジア・プノンペン市 SUNWAY HOTEL 2F にて開催されました。

一次予選会では、日本の地理、政治、経済、文化、文学、社会、流行などの幅広い分野から、聞き取り問題 30 問が出題されました。コンテスト参加申込者は 97 名で、当日の参加者は 58 名でした。

そして、予選会を通過した 13 名が、本選会の 3 分間即興スピーチに進みました。本選会の即興スピーチでは、その場で出された 3 つの課題、

①あなたが日本語を勉強していて難しいと感じる文法(もしくは表現)はなんですか。具体的な理由や例を挙げて、話してください。

②あなたが日本語を勉強しようと思ったきっかけは何ですか。エピソードを交えて話してください。

③あなたの国と日本の文化・習慣で、大きく違う点は何だと思えますか。具体的な理由や例を挙げて、話してください。

というテーマから 1 つを選択し、5 分間のシンキングタイムの後、3 分間の即興スピーチを行いました。テーマ①を選択した人は 1 名、テーマ②を選択した人は 3 名、③を選択した人は 9 人と非常に多く、挨拶の習慣や時間の感覚の違いを比較したスピーチが多く見られました。

そして、審査委員 3 名による審査の結果、入賞者 5 名が選ばれ、賞状と賞品目録が授与されました。

入賞賞品としては、2019 年 1 月 20 日(日)～1 月 27 日(日)(7 泊 8 日 1 泊機内泊)の日程で、日本体験旅行に参加する権利を与えられました。

この日本体験旅行で日本の生活や文化を体験し、日本留学の夢を実現する為の旅行にしてもらい、さらなる日本への興味、理解を深めてもらいたいと思います。

<実施報告>

■ 予選会

予選会	13:00～	開会の辞・注意事項説明
	13:05～	予選(日本語聞き取り問題 30 問)

日本の地理、政治、経済、文化、文学、社会、流行などについての聞き取り問題 30 問



受付の様子



応募総数 97 名中、58 名が参加
一次予選(聞き取り問題)に挑戦

成績上位者 13 名が本選会へと出場しました！

■ 本選会

本選会	14:30～14:40	予選通過者発表
	14:40～	開会の辞・審査委員紹介・注意事項説明
	14:50～14:55	シンキングタイム
	14:55～	スピーチ
	15:30～	共立日語学院による学校紹介

スピーチ課題

①あなたが日本語を勉強していて難しいと感じる文法(もしくは表現)はなんですか。具体的な理由や例を挙げて、話してください。

②あなたが日本語を勉強しようと思ったきっかけは何ですか。エピソードを交えて話してください。

③あなたの国と日本の文化・習慣で、大きく違う点は何だと思えますか。具体的な理由や例を挙げて、話してください。

テーマ③を選択したのは 9 名と非常に多く、「日本人は時間に厳しい」、「挨拶の種類」、「温泉の文化」などを挙げ、日本語の先生や、職場の日本人と実際に触れ合う中で気付いた、日本の習慣・文化の違いを、エピソードを交えてスピーチしていました。

また、審査員のスピーチに対する質問にしっかりと返答している参加者が多く印象的でした。



3 分間の即興スピーチの後、審査委員からの質問に答えます。

■ 表彰式

表彰式	16:00～	夢・日本体験賞」発表(5 名)
-----	--------	-----------------

式次第

- 一、開会の辞
- 一、実行委員長挨拶
- 一、来賓挨拶
- 一、審査委員長講評
- 一、賞状授与
- 一、閉会の辞

＜実行委員長 挨拶＞



菊川実行委員長

＜来賓 挨拶＞



参事官 鈴木 宏典様
(在カンボジア日本国大使館)

＜来賓 挨拶＞



山崎 格正 支店長
(全日本空輸株式会社
プノンペン支店)

＜審査委員 講評＞



山田審査委員長

＜賞状授与＞



入賞者 5 名に菊川実行委員長より
賞状と目録が授与されました。

＜奨励賞授与＞



山田審査委員長より一次予選通過者 8 名に
奨励賞が授与されました。

入賞者 『夢・日本体験賞』



氏名	所属学校
ヌウン モニレット NOUN MONYRETH	タヤマビジネススクール
サム ナヴァン SAM NAVANN	タヤマビジネススクール
カン ラタナ KANG RATHANA	CBTC
タン ソムニア TANN SOMNEA	名古屋大学日本法教育研究センター 王立法経大学(RULE)
スゴアーン ティアラニー SNGOURN THEARANY	名古屋大学日本法教育研究センター 王立法経大学(RULE)

入賞者 5 名には、『夢・日本体験賞』(7 泊 8 日の日本体験旅行)を贈呈致しました。



「日本へ行きたいですか？」の問いに、
全員が元気よく手を挙げました



個性あふれるスピーチに
笑顔になります



2017 年度コンテスト入賞者の二人。
日本語堪能な彼女達がコンテスト運営を手伝ってくれました。



<講評>

審査委員・出題委員長 西部 愛美

(学) 共立育英会 共立日本語学院 教員

今回の「日本語体験コンテスト in プノンペン」には、58 名にご参加いただきました。予選会で、日本に関する聞き取り問題を行い、58 名中 13 名が本選会のスピーチコンテストに進みました。

スピーチは、3 つのテーマから 1 つ選び、即興で行うのですが、今回は、13 名中 9 名が、「あなたの国と日本の文化・習慣で、大きく違う点は何だと思いますか。」というテーマを選びました。「日本人はよくあいさつをする」、「日本人は時間を守る」など、様々な違いを話してくれ、日本へ行ったことがないのにもかかわらず、自国と日本の違いをよく感じ、分析しているな、と感心しました。皆さん、テレビやインターネット、学校の日本人の先生や、職場にいる日本人を見て、日本の文化や日本人の習慣を知ったそうで、中には、「日本人はよく本を読む」、「日本人は一人でご飯を食べない」など、日本人からすると、「ちょっと違うな」と感じるものもありました。日本人と接する場が限られているため、そういった一般的ではない印象を持っている方もいるのだと思います。

今回のスピーチの中では、日本の良さを話してくれた方が多かったのですが、私は、日本にはない、カンボジアやカンボジア人の良さも聞いてみたかったです。これから、日本語を勉強して、日本の文化や日本人の習慣をたくさん知っていく中で、日本の良さだけでなく、自国の良さにも気づいていただければと思います。

今回、本選会に進んだ 13 名から 5 名が、1 月に行われる日本旅行に参加できることになりました。5 名の皆さんには、ぜひ、本当の日本、日本人を感じ、いいところも悪いところも学んで、これからの日本語学習、そして、将来に役立てていただきたいと思います。

今回の日本語体験コンテストに参加した皆さんが、将来、日本とカンボジアの架け橋となって活躍されることを、心から願っております。